公表 平成15年度

町財政のバランスシート

町民1人当たり 資産は174万円、負債は59万円

町では、町の財政状況を町民の皆さんに知っていただこうと、平成十五年度の決算に基づいてバランスシートを作成しました。ここでは、普通会計（一般会計と土地取得事業特別会計を合算したもの）のバランスシートの中身について紹介します。

◆表１　バランスシート　（平成16年３月31日現在、単位：万円）

資　産

367億6,500万円

（前年度より5億4,034万円増）

町にどのような資産があるかを表示。町はこれらの資産（土地、建物、現金など）を有効に活用することで、町民の皆さんにさまざまなサービスを提供することができます。

1．有形固定資産	3,359,166
総務費	95,355
農林水産業費	828,723
商工費	176,340
土木費	1,236,106
消防費	90,638
教育費	853,489
その他	78,515
2．投資等	117,615
投資及び出資金	11,723
貸付金	150
基金	101,449
退職手当組合積立金	4,293
3．流動資産	199,719
現金・預金	175,760
未収金	23,959

負　債

125億3,113万円

（前年度より7億4,091万円増）

町にどれくらいの負債があるかを表示。毎年度の経費に加えて、これらの負債返済のため、町民の皆さんに負担を求めることになります。

1．固定負債	1,154,014
地方債	931,033
退職給与引当金	222,981
2．流動負債	99,099
翌年度償還予定額	99,099

正味資産

242億3,387万円

（前年度より2億57万円減）

資産の形成に充てた国・県支出金、町税などを表示しています。

1．国県支出金	972,814
2．一般財源等	1,450,573

バランスシートは財産の中身や財政状況を示した表で、貸借対照表と呼ばれています。バランスシートの左側は、町が所有する資産（土地、建物、現金など）で、右側は資産形成に要した負債（借入金など）です。

バランスシートを作ることで、町にどのくらい財産があり、どのくらい借金があるのか明らかになります。また、町が一年間に町民の皆さんの資産をどれだけつくることができたのか把握することもできます。

◆資産の状況（表１）

平成十五年度末の資産は三百六十七億六千五百万円（前年度比一・五％増）。町民一人当たりに換算すると、百七十三万五千八百三十六円となります。土地や建物などの**有形固定資産**は、昭和四十四年度以降の建設事業費から減価償却累計額を差し引いたものが計上されています。

◆表２
社会資本形成の世代間負担比率

区　分	平成15年度
有形固定資産 (A)	3,359,166万円
正味資産合計 (B)	2,423,387万円
負債合計 (C)	1,253,113万円
これまでの世代による社会資本の負担比率 (B)／(A)	72.1%
後世代による社会資本の負担比率 (C)／(A)	37.3%

流動資産は、財政調整基金など流動性の高い基金や未収納の税などからなります。**投資等**には、町が直接貸し付ける貸付金、使用目的が決まっている各種基金などが含まれています。

◆負債の状況（表１）

負債は資産の形成に充当された資金のうち、将来の負担となるもの（借金）で、翌々年度以降に返済する**固定負債**と、翌年度に返済する**流動負債**からなります。平成十五年度末の負債総額は、前年度比六・三％増の百二十五億三千百十三万円。町民一人当たりに換算すると、五十九万一千六百四十九円になります。総資産のうち、後世代が負担しなければならない割合（表２）は三七・三％となっています。

◆正味資産の状況（表１）

正味資産は、資産形成に充当された資金のうち、既にこれまでの世代によって負担され、返済などの必要がないものです。総額は二百四十二億三千三百八十七万円（前年度比〇・八％減）で、町民一人当たりに換算すると百十四万四千百八十七円になります。総資産のうち、これまでの世代が負担した分の割合（表２）は七二・一％となります。

▽問い合わせ　役場企画財政課財政担当（☎８２―３１１１内線４３１）へどうぞ。